

予算審査特別委員会で8年度予算を審査

歳入全般と、市長公室、総務部、財政部、市民部、玉山総合事務所などの歳出を審査

問 宿泊税導入の周知方法と歳入予算の積算根拠は。

答 駅や宿泊施設へのポスター掲示、インターネットでの周知のほか、事業者から意見を聞き、方法を検討する。また、周知に係る経費や事業者へのシステム改修補助金など、導入初年度に必要な経費分を歳入として計上した。

問 事務事業見直しで8年度は新市庁舎整備の基金への積み立てがないが、現在の進捗状況と今後の見通しは。

答 7年度から5年かけて用地を検討するため関係機関と協議しており、基金は今後19億円から28億円を積み立てる必要があり、規模の適正化により事業費の圧縮を目指す。

このほかの主な質疑

- ・8年度における自治体経営改善実施計画の取り組み
- ・市立病院の経営改善の抜本的な見直しの必要性
- ・公衆街路灯LED化のリース期間終了後の市の対応
- ・国保高額療養費改正および子ども・子育て支援金制度の影響



新市庁舎整備の進捗と見通し

保健福祉部、子ども未来部、教育委員会などの歳出、市立病院の歳入・歳出を審査

問 動物愛護管理センター整備の基本設計策定に当たり、民間団体や利用者などの意見反映の状況と今後の方向性は。

答 7年度に「動物愛護のあり方検討ワーキンググループ会議」を開催し、関係団体の意見を基本設計に盛り込んだ。8年度も会議を開催し、実施設計を検討していく。

問 保育士確保対策事業の予算額の積算における保育士確保数の算定根拠は。

答 配置基準に沿った保育士数が確保され雇用が定着するよう、市内保育所など各施設から必要な保育士の人数を調査し、調査結果をもとに各事業の予算を積算している。

このほかの主な質疑

- ・ひきこもり支援推進事業の内容とスケジュール
- ・就労的活動支援コーディネーターの取組内容
- ・市立病院の医業収益の増加理由と今後の経営戦略
- ・中学校部活動指導員の業務内容と今後の地域展開



1日目

議長を除く37人の議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、8年度一般会計予算など当初予算議案13件を審査しました。自治体経営改善方針についての審議を踏まえた8年度当初予算案に対して、4日間にわたり審査を行い、審査結果は、26日の本会議で委員長が報告しました。

2日目

8年度当初予算の概要

○一般会計	1265億1000万0000円	前年度当初比1.8% ↑
○特別会計	589億5588万6000円	前年度当初比0.5% ↑
○企業会計	344億5470万1000円	前年度当初比2.3% ↑
合計	2199億2058万7000円	前年度当初比1.5% ↑

3日目

交流推進部、環境部、商工労働部、農林部などの歳出を審査

問 本市とうるま市、文京区の友好三都市野球交流事業について、参加する子どもの旅費を市で負担しては。

答 事務事業見直しもあり厳しい状況だが、東京ドームで野球をする貴重な機会であり、姉妹都市交流事業としての展開という考えもあることから検討していく。

問 8年度のクマの殺処分想定頭数は。また、個体数管理のための実態調査の考えは。

答 緊急銃猟などで捕まえたクマを駆除する場合として5頭を想定している。個体数管理については、県が中心となるため、県の進め方を注視し、市でも対応していく。

このほかの主な質疑

- ・次世代を担う若者の友好都市との交流事業
- ・ミドル世代就職支援事業の内容
- ・新規就農者の見込み数
- ・農業の担い手確保の課題



建設部、都市整備部などの歳出、上下水道部の歳入・歳出を審査

問 屋外広告物について、適正な掲示が守られていないこともあるが、パトロールの活動状況は。

答 職員2人体制で現地を確認しており、季節、天候などによるが、おおむね一週間に1、2回程度のパトロールを行っている。

問 市動物公園ZOOMOの年間修繕料は、指定管理料に含まれている年間60万円であり、超過分はZOOMOが負担しているとのことだが、予算額の見直しの検討状況は。

答 超過分は市で負担すべきとの包括外部監査の指摘もあり、財源を確保して市で対応できるよう検討する。

このほかの主な質疑

- ・融雪施設の修繕施設数と修繕規模
- ・盛岡広域圏の自治体連携による公共交通網の維持
- ・建築災害未然防止に向けた取り組み
- ・土木技術職員の平均年齢の上昇と今後の採用見込み



ZOOMO年間修繕費の見直しを

4日目

